

平成 27 年度第 6 回 宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成 27 年 2 月 2 日（火） 15 時 30 分～16 時 45 分
2. 場所 宮古市役所本庁舎 6 階 大ホール
3. 出席委員 17 名
北原啓司、寺崎勉、赤沼正清、小野寺文雄、内田瑛子、盛合敏子、林本卓男
伊藤和榮、山下修治、佐香英一、横田大樹、鈴木光子、佐々木慶子、
岩田博子、金野侑、平藤一氏幸、望月正彦
4. 事務局出席者 4 名
企画部長 山崎政典
復興推進課市街地施設推進室室長 岩間健、同主任 竹田真人
都市整備部都市計画課 復興拠点整備室主査 石阪良治
5. 傍聴者 2 名（他 報道関係者 4 名）
6. 議題 I 宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計について
II 宮古市庁舎跡地活用に関する基本構想（案）について
III その他
7. 議事録（要旨）
I 宮古市中心市街地拠点施設建設・基本設計について

主な意見及び質疑事項

質疑

・建設単価について、基本計画時点で約 71.8 億円だったが、基本設計時点で 76.3 億円に増えている。高騰の原因はどう考えているか。この建設単価は、更に高騰する見込みはあるのか。

回答

・昨年度策定した基本計画では各市町村の先行事例と建設物価の変動状況から、1 平方メートル当たりで約 50 万円と想定した。建設管理支援業務により、大手ゼネコンや地元企業を対象に行った聞き取り調査では、宮古市の単価は東北一般単価より 1.2～1.3 倍程度高くなっていることが分かった。それらの市場価格も反映している。
--

建設単価は、全国的にはピーク時から落ち着いている傾向にあるが、宮古市は高止まりの状態となっている。今後どう推移するか予測が難しいが、単価が更に高騰するとは考えていない。（事務局）

質疑

・光熱水費のうちの電気代の項目には、照明の更新費用はどの程度占めるか。LED を採用し、電気代が 6 分の 1 に下がっている所もある。
--

回答

・電気項目は純粋な電気代のみ計上し、更新費用は計上していない。LED はイニシャ
--

ルコストが高いが、ランニングコストが従来の照明よりだいぶ下がるため、トータルの費用は2分の1程度に下がると試算しており、近年学校施設もLED改修を積極的に導入している。(事務局)

質疑

・全体的に堅く見積もりすぎではないか。もっと抑えられる部分は抑えるべきだ。修繕費の試算でも建替後の修繕工事費がゼロになっているが、これが将来的に発生してくれば、維持費が更に増えることになる。目標値を明確にし、しっかりとコストを削減するべきだ。

回答

・メンテナンス部分の節約は大事だ。八戸市の「はっち」では上海万博の影響で資材単価が高騰し、地下1階の部分を取りやめることになった。そのような予想外の事項も含めて、場合によっては、面積を削る等の判断が求められることもある。どこでどう面積を削るか、又、ランニングコストは管理方法等のソフト部分も大事になる。エネルギー計画を基に節約すべきである。(委員長)

質疑

・5ページの引継ぎ事項について、設置の有無を検討するのか、それとも設置する場所等について検討するのか。また、議会フロアについては、どのようなスケジュールで議会等と協議する予定なのか。

回答

・事項によって異なるが、設置することを前提に設置の場所や配置、個数等について具体的に検討する方向だ。市民検討委員会などを通じていただいた意見を具体的に検討していきたい。議会フロアについては、議会事務局を通じて議論をしているが、今後実施設計の段階で、再び事務局に投げかけたい。実施設計は9月までの短期間で完了予定であるので、契約後に即協議する。(事務局)

質疑

・市の別の協議会では、現中央公民館等は市民交流センターが新設され、機能移転することから廃止する、と説明を受けた。前回の市民検討委員会では、公民館機能の集約とは設置意義が異なるとのことで説明を受けており、内容が矛盾している。庁内で一致した意見を持っていないのではないか。

回答

・宮古市の人口や財政規模を踏まえると、現在ある公共施設を全て維持することは出来ない。公共施設再配置計画では543の公共施設を半分程度にしないと、維持できないと試算しており、施設の状態に応じて建替えや改修を行い、今後も維持するものと、将来的には地域への移管も含め廃止していくものと切り分けている。中央公民館、中央公民館分館については、平成30年からの10年間で廃止するものとしている。ただし、市民交流センターを整備するから廃止ではなく、財源上の問題などから別の観点で廃止するもの

<p>であり、整備と同時に廃止するものではない。同時に存在する時期もあり、廃止する施設については、その他施設の利用状況等も見極めて個別に検討したい。担当する課によって、再配置に関して誤った認識をもって説明しているようであり、今後認識を改めていくよう情報を共有していきたい。(事務局)</p>
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館の利用者自身も誤解されているようだ。公民館がなくなっても、市民交流センターで同じように活動できることを前提として話をされている。公民館とは違い利用料金も発生するし、施設の活用の方法も変わってくるのではないか。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館での活動を市民交流センターで行うことも一部可能である。しかし、公民館を集約するために建てる施設ではないので、すべての活動をここで行うことは困難である。誤解のないよう役所内部でも共通認識を持ってほしい。(委員長)
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の計画について、現況施設の面積とコストの合計が、計画施設の面積とコストの合計とほぼ同じになる。そうすると、中央公民館の機能が市民交流センターに移ると感じるのは当たり前だと思う。資料の作り方に問題があると思う。 <p>公共施設再配置計画では公共施設の数減らすとなっているが、本事業は方針に逆行するのではないか。</p> <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民交流センターは新設であり、ランニングコストを比較する対象が無いため、参考として現況施設を掲載した。 <p>公共施設の数約半分にするという方向性を持って、個別の施設をどうするか再配置計画をまとめたものであるが、施設の利用実態や施設の性質などを勘案し、文化会館などを例に今後も維持管理すると位置づけた施設もある。廃止施設の扱いは、地域や利用団体と個別協議が必要である。(事務局)</p>

II 宮古市庁舎跡地活用に関する基本構想（案）について

<p>主な意見及び質疑事項</p>
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の商店街は、震災復興の取り組みを頑張っているが、力不足で賑わいが薄れている。約2年間中心市街地の活性化の検討は手付かずの状態だ。検討委員会になるか、別の組織に再編するかわからないが、「つながるみやこまち」の実現のために商店街の協力のもと、具体的な取り組みを協議できる組織を立ち上げてほしい。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮古の高校生は優秀で、ワークショップの中で、商店街はどうしたら活性化するか、アイデアを提案してくれている。商店街の方々にも是非出ていただきたい。今のワークシ

ヨップは跡地について考えるという方向性だったが、駅から跡地にかけての空間にどう賑わいを持たせるかという広い視野で議論が出てきており、跡地整備前でもできることから実践していきたい。(事務局)

Ⅲ その他

主な意見及び質疑事項

質疑

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・今後、公民館活動などとリンクする部分もあると思うので、所管する部課のリーダーなどをオブザーバーとして会議に参加させてもよいと思う。 |
|--|

(事務局)

今年度は今日の会議で終了になる。来年度についても、庁内や議会での検討と並行し、本検討委員会で様々な意見をいただき、内容を深めていきたい。開催にあたり、早い段階でお声掛けをしたい。

以上、閉会